

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	教育部教育政策課		担当課長名	鈴木 恭太
(※)第2期実施計画の事業名	教育コミュニティ推進事業		財務会計上の事業名	教育コミュニティづくり推進事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	5021	1	財務会計上の短縮番号	6077
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち		
	節	第2節学校・家庭・地域をつなぐ地域教育の振興		
	項目	項目1教育コミュニティづくりの推進		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	地域の教育力の向上を図り、子どもの生きる力を促進する。
事業の対象 (誰を、何を)	市立学校園、保育所の園児・児童・生徒およびその保護者、市民
事業の手段・方法 (どのように)	各学園(中学校区)で教育コミュニティづくり推進委員会を設置し、事業の企画、立案、実施を行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 22 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区分		26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)	H28/H27
事業費(千円)		415	490	526	585	107.3%
主な内訳	報償金	212	330	330	425	100.0%
	消耗品費・印刷製本費	13	80	116	80	145.0%
	保険料	80	80	80	80	100.0%
人件費(人・千円)		0.35, 2,310	0.30, 1,880	0.30, 1,840	0.22, 1,202	100.0%
内訳	正職員	0.25, 1,950	0.20, 1,520	0.20, 1,480	0.12, 912	100.0%
	再任用短時間勤務職員	0.10, 360	0.10, 360	0.10, 360	0	100.0%
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0.10, 290	-
臨時の任用職員		0	0	0	0	-
支出合計 A		2,725	2,370	2,366	1,787	99.8%
財源	国・府支出金	188	188	188	188	100.0%
	地方債					-
	その他( )					-
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C		2,537	2,182	2,178	1,599	99.8%
一般財源比率 C÷A		93.1%	92.1%	92.1%	89.5%	100.0%
受益者負担率 B÷A						-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	学校・家庭・地域が互いに連携・協働する体制づくりを推進することが基盤となるため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	26年度	27年度	28年度	29年度	目標値 (H30)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
指 標 値	☆ <input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	教育コミュニティづくり推進連絡会	回	3	3	3	3	3
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	教育コミュニティづくりに係る研修会	回	1	1	1	1	1
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	教育コミュニティづくりに係る研修会参加者数	人	71	71	69	80	90
	☆ <input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	教育コミュニティづくり推進事業参加者数	人	5,400	5,400	5,400	5,500	5,500
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		平成23年度に教育コミュニティづくり推進連絡会の運営方式を地域住民主導に変更した形態を継続することで、双方向の活発な意見交流が行われた。平成28年度は、保護者・児童対象に加え教職員対象の「親学習」を実施した。また、人材募集の啓発を踏まえた教育コミュニティのアップデートを作成した。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)		教職員への「親学習」の認知度を高めることに加え、学校・地域・家庭の更なる連携・充実した教育コミュニティづくりの可能性があるため。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	学校・家庭・地域が連携・協働しながら子どもたちを育てていく教育コミュニティづくり推進事業は重要であり、今後も引き続き実施していく。	
現在抱える課題と対策	課 題	高齢化に伴う、地域人材の減少。新たな人材をコミュニティづくりにどのようにして取り込んでいくか。
	対 策	地域に加え、保護者も対象にコミュニティづくりについて周知する必要がある。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	コミュニティづくりを推進するためには地域や保護者に対して啓発する必要がある。そのためには、教職員・保護者・地域の合同研修を実施しコミュニティの一員としての自覚を育んだり、コミュニティの取り組みをホームページ等で紹介したりする必要がある。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	教育部教育政策課		担当課長名	鈴木 恭太
(※)第2期実施計画の事業名	学校支援地域本部事業		財務会計上の事業名	学校支援地域本部事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	5021	2	財務会計上の短縮番号	6080
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち		
	節	第2節学校・家庭・地域をつなぐ地域教育の振興		
	項目	項目1教育コミュニティづくりの推進		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	地域の教育力の活性化を図り、豊かな人間関係の中で子ども一人ひとりの「生きる力」と「たしかな学力」
事業の対象 (誰を、何を)	市内中学校区(小・中学校)
事業の手段・方法 (どのように)	学校支援地域本部を設置し、教職員、保護者、地域住民の連携を強化する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 23 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	大阪府補助金交付規則(昭和45年大阪府規則第85号)第13条

2 事業費等

区分	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)	H28/H27	
事業費(千円)	1,441	1,517	1,547	1,553	102.0%	
主な内訳	報償金	1,384	1,456	1,485	1,485	102.0%
	消耗品費	40	40	40	40	100.0%
	通信運搬費・機器借上料	17	21	22	28	104.8%
人件費(人・千円)	0.25, 1,530	0.30, 1,880	0.30, 1,840	0.22, 1,082	100.0%	
内訳	正職員	0.15, 1,170	0.20, 1,520	0.20, 1,480	0.12, 912	100.0%
	再任用短時間勤務職員	0.10, 360	0.10, 360	0.10, 360	0	100.0%
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
	臨時的任用職員	0	0	0	0.10, 170	-
支出合計 A	2,971	3,397	3,387	2,635	99.7%	
財源	国・府支出金	907	933	933	933	100.0%
	地方債					-
	その他( )					-
	うち受益者負担 B					-
	一般財源 C	2,064	2,464	2,454	1,702	99.6%
一般財源比率 C÷A	69.5%	72.5%	72.5%	64.6%	99.9%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	学校支援コーディネーターは外部人材を活用している。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	学習支援や部活動支援等で、地域人材をコーディネーターとして活用する業務。
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	地域人材をコーディネーターとして活用することにより、学校と地域・地域内においてつながりや活性化が見込めるため。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (予定)	目標値 (H30)
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	学校支援地域本部の設置	校	16	15	15	15	15
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	学校支援コーディネーターの活動回数	回	737	773	808	850	900
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	学校支援コーディネーター	人	39	54	42	50	60
	☆ <input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	学校支援員	人	1,800	1,800	1,995	2,000	2,000
成果の達成状況	<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input checked="" type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由	学校支援コーディネーターの活動回数は増えているが、学校支援コーディネーターの人数は昨年度に比べて減少しているため。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	学校支援地域本部推進事業に携わる人員の確保については、改善の余地があるため。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	学校を拠点として地域が活動に参加することで、学校と地域、子どもと地域、とつながりが広がりがつつある。また、活発に活動を実施することができた。	
現在抱える課題と対策	課 題	学校支援コーディネーターの人材確保および人材育成をどのように行っていくのか。
	対 策	地域に加え、保護者への啓発が必要。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	学校支援地域本部との情報の共有化や教職員と支援員の交流の促進が必要である。小中一貫教育に加え、就学前との連携も意識した活動の活性化を図ることも検討していく。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	教育部 教育センター		担当課長名	阪 晃一
(※)第2期実施計画の事業名	こども会育成事業		財務会計上の事業名	こども会育成事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	5023	1	財務会計上の短縮番号	6975
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち		
	節	第2節学校・家庭・地域をつなぐ地域教育の振興		
	項目	項目3青少年の健全育成		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	子どもの仲間集団による活動を通じて、子どもの健全な心身の発達を地域の大人の協力を得て育成する。
事業の対象 (誰を、何を)	市内在住の就学3年前の幼児から中学3年生まで
事業の手段・方法 (どのように)	地域が育むこども会の活動を支援するとともに指導者やリーダーの養成を行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和 37 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区分		26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)	H28/H27
事業費(千円)		1,750	1,688	1,631	1,773	96.6%
主な内訳	報償金	1,301	1,250	1,198	1,179	95.8%
	負担金	394	381	376	530	98.7%
	通信運搬費	55	58	58	64	100.0%
人件費(人・千円)		0.70, 2,730	0.95, 4,220	0.89, 3,764	1.06, 4,139	93.7%
内訳	正職員	0.05, 390	0.20, 1,520	0.14, 1,064	0.16, 1,184	70.0%
	再任用短時間勤務職員	0.65, 2,340	0.75, 2,700	0.75, 2,700	0.75, 2,700	100.0%
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
臨時任用職員		0	0	0	0.15, 255	-
支出合計 A		4,480	5,908	5,395	5,912	91.3%
財源	国・府支出金					-
	地方債					-
	その他( )					-
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C		4,480	5,908	5,395	5,912	91.3%
一般財源比率 C÷A		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
受益者負担率 B÷A						-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容		市が半額を補助しているが、単位こども会の数や会員加入率が減少傾向にあることを鑑みれば、これ以上の保護者負担は望ましくないと考える。				

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	青少年の健全育成や安全管理の視点において、教育委員会がこども会活動の支援・育成を行うことが肝要であるため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	26年度	27年度	28年度	29年度	目標値 (H30)	
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)		
指 標 値	☆	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	単位こども会数(加入率)	%	27.06	25	23.85	22	27
		<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	リーダーの登録数	人	215	189	164	150	180
		<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	会員数(幼児小学生)	人	1,564	1,516	1,462	1,350	1,500
		<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	主行事の参加者数	人	1,075	1,139	873	1,100	1,000
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input checked="" type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		会員数(幼児小学生)の減少に歯止めがかけられなかった。親睦かるた競技大会が積雪の影響で中止になった。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
	選択の理由 (目標値や事業費の推移についても言及して記入)	各こども会の活動内容の精選を進め、増加傾向にある幼児の参加者が、小学生になってからも引き続き参加できる活動にしていく。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	市のこども会行事(一泊キャンプ、ドッジボール大会、カルタ大会)は、現在も多くの参加者がある。	
現在抱える課題とその対策	課 題	こども会参加児童数の減少。
	対 策	大きな行事だけでなく、各単位こども会の取り組みの精選をはかり、育成者を含め、幼児期に参加していた児童が小学生になってからも引き続き参加しやすい活動をしていく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	池田市こども会育成連絡協議会の事務局として、こども会行事への参加率を高め、指導者の育成を図ることで学校・家庭・地域が協働し、明日の池田を担う子どもたちの健全育成を図る。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	教育センター		担当課長名	阪 晃一
(※)第2期実施計画の事業名	少年団体育成事業		財務会計上の事業名	少年団体育成事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	5023	2	財務会計上の短縮番号	6980
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち		
	節	第2節学校・家庭・地域をつなぐ地域教育の振興		
	項目	項目3青少年の健全育成		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	市内のボーイスカウトおよびガールスカウト活動の活性化を図る。
事業の対象 (誰を、何を)	市内在住の青少年
事業の手段・方法 (どのように)	市内のボーイスカウトおよびガールスカウトに対し、行事報償金を支援することにより、青少年の健全育成団体の運営、活動の支援を行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区 分		26年度 (決算)		27年度 (決算)		28年度 (決算)		29年度 (予算)		H28/H27
事業費(千円)		126		126		126		126		100.0%
主な内訳	報償金	126		126		126		126		100.0%
										-
人件費(人・千円)		0.10	570	0.03	188	0.03	184	0.08	380	100.0%
内訳	正職員	0.05	390	0.02	152	0.02	148	0.02	152	100.0%
	再任用短時間勤務職員	0.05	180	0.01	36	0.01	36	0.06	228	100.0%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		696		314		310		506		98.7%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他( )									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	696		314		310		506		98.7%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容		ボーイスカウト・ガールスカウト活動の活性化は、青少年の健全育成において非常に重要であり、教育委員会がその支援を行うことは、地域社会への理解を広げることになるため。								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	青少年健全育成団体であるボーイスカウト・ガールスカウトを支援しているため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	26年度	27年度	28年度	29年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	ボーイスカウト団員数	人	223	212	197	190	190
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	ガールスカウト団員数	人	87	87	79	70	70
	☆ <input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	ボーイスカウト団数	団数	5	5	5	5	5
	☆ <input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	ガールスカウト団数	団数	2	2	2	1	1
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		青少年健全育成団体として世界規模で活動しているボーイスカウト・ガールスカウトを支援している事業であるため。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	団員数の増加を図るための支援活動を続けていく必要がある。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	世界規模で活動している団体の支援事業であるから。	
現在抱える課題と対策	課 題	団員数の維持のため、活動の活性化を図る。
	対 策	広報活動の充実を支援。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	今後ともボーイスカウト・ガールスカウトの活動が継続していけるように活動を支援していく必要がある。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	教育センター		担当課長名	阪 晃一
(※)第2期実施計画の事業名	少年の主張開催事業		財務会計上の事業名	少年の主張開催事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	5023	3	財務会計上の短縮番号	7015
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち		
	節	第2節学校・家庭・地域をつなぐ地域教育の振興		
	項目	項目3青少年の健全育成		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	小中学生に社会の一員としての自覚と行動を促し、青少年の健全育成に対する市民の理解と関心を深める
事業の対象 (誰を、何を)	市内小中学生の児童・生徒
事業の手段・方法 (どのように)	地域や社会から感じたこと、考えること、訴えたいことなどの作文を募集し、その中から優秀作品を選出し、応募者本人の言葉で人前で発表してもらう
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和 37 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市青少年指導員設置要綱

2 事業費等

区 分		26 年度 (決算)		27 年度 (決算)		28 年度 (決算)		29 年度 (予算)		H28/H27
事業費(千円)		63		81		68		79		84.0%
主な内訳	賞賜金	28		29		30		32		103.4%
	補助金	19		19		19		19		100.0%
	報償金	10		9		10		18		111.1%
人件費(人・千円)		0.26	978	0.06	376	0.03	184	0.12	637	50.0%
内訳	正職員	0.01	78	0.04	304	0.02	148	0.05	380	50.0%
	再任用短時間勤務職員	0.25	900	0.02	72	0.01	36	0.06	228	50.0%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0	0.01	29	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		1,041		457		252		716		55.1%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他( )									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	1,041		457		252		716		55.1%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
	上記の内容	受益者負担なし								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	青少年指導員協議会が事業運営にあっている。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	発表大会出場者数	人	18	18	18	18	18
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	応募作品数	作品	647	926	905	700	700
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				予想を上回る応募があり、内容的にも質が高いものが多い。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	子どもたちが自分の思いを自分の言葉で人前で発表することにより、社会のことを理解するよい機会となっている。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	作品の募集時期、発表大会の実施時期も、子どもたちがしっかりと取り組める現状維持が望ましい。	
現在抱える課題と対策	課 題	子ども達が自分の主張や思いを文章にまとめる力、自分の言葉として発表する力の醸成。
	対 策	小学校や中学校国語科等の授業で制作作品の指導をしてもらうなど、学校との連携に一層努める。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	小・中学生が日頃の生活を通して感じていることや考えていることを発表することにより、社会に関心を持ち、社会の一員であるという自覚を高める一助として、「少年の主張発表大会」はその機会提供として重要である。今後も学校と連携を密に図り、本事業を進めていきたい。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	教育センター		担当課長名	阪 晃一
(※)第2期実施計画の事業名	成人の集い開催事業		財務会計上の事業名	成人の集い開催事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	5023	4	財務会計上の短縮番号	6970
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち		
	節	第2節学校・家庭・地域をつなぐ地域教育の振興		
	項目	項目3青少年の健全育成		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	成人の日を迎えるにあたり、新成人が一堂に会して成人になったことを自覚するとともに、自ら生き抜こうとする青年を祝福・激励する
事業の対象 (誰を、何を)	新成人
事業の手段・方法 (どのように)	新成人による「成人の集い」実行委員会を設置し、実行委員による運営を行う
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和 37 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区 分		26 年度 (決算)		27 年度 (決算)		28 年度 (決算)		29 年度 (予算)		H28/H27
事業費(千円)		1,261		1,289		1,293		1,299		100.3%
主な内訳	行事委託料	800		838		838		838		100.0%
	賞賜金	398		390		390		390		100.0%
	通信運搬費	60		59		62		68		105.1%
人件費(人・千円)		0.28	1,764	0.17	1,212	0.18	1,256	0.21	1,330	105.9%
内訳	正職員	0.18	1,404	0.15	1,140	0.16	1,184	0.14	1,064	106.7%
	再任用短時間勤務職員	0.10	360	0.02	72	0.02	72	0.07	266	100.0%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		3,025		2,501		2,549		2,629		101.9%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他( )									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	3,025		2,501		2,549		2,629		101.9%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
	上記の内容	受益者負担なし								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	会場(池田市民文化会館)の使用についてはISSに業務委託しており、式典運営についてもっとも精通しており、その経験と実績により充実した行事の遂行が確保されているため。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	新成人による実行委員会の活動はアウトソーシングに適さないため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	目標値 (H30)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	参加率	%	65	67	63	65	65
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	参加者数	人	695	666	719	700	700
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		成人を祝福するにふさわしい会を運営することができ、参加率も若干増加に転じた。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	・舞台業者に委託したゲスト出演者の演目が会の趣旨にふさわしいものとなるよう、今後、出演者の演目・内容等について確認していく必要がある。 ・実行委員が積極的に運営に携われるよう、事務局もサポートしながら、今後も新しい内容や方向性を検討していく。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	新成人が運営することにより、参加者も毎年一定の参加率があり、自覚を持ってもらえている。	
現在抱える課題とその対策	課 題	新しい企画として、新成人が小中学校の卒業時にお世話になった担任の先生方による「お祝いメッセージ」をビデオレターにて放映したが、今後も継続していくためには学校・教員の理解と協力が必要。
	対 策	実行委員が積極的に運営に携われるよう、教育委員会もサポートしながら、実行委員から各校へ依頼するかたちを取り、今後のさらなる新しい企画や方向性を探っていく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	これからの地域を支える青少年の健全育成のため、運営に協力をいただいている青少年指導員協議会とともに市を上げて新成人を祝う意味は大きい。	